

			はい		どちらとも		いいえ		未記入		改善目標 工夫している点など
			人	%	人	%	人	%	人	%	
環境体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	100		0		0			0 法的に必要な広さは十分に確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	100		0		0			0 定められた人数の職員が配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	100		0		0			0 玄関から室内までフルフラットで、トイレの2か所のうち1か所は車いす対応である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100		0		0			0 PDCAサイクルに基づき業務が行われている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100		0		0			0 毎年1月下旬に保護者向け評価実施し2月下旬に集計し、会議を行い、以降の確認や業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100		0		0			0 毎年2月下旬にホームページで、結果を公開し、県にも報告している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		0	6	100		0			0 外部による第三者評価は実施していないが、グループ内事業所に依頼しそれを基に業務改善をしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100		0		0			0 今年度は感覚統合療法のzoom研修を3回、田中ビネーの研修を講師を招いて、虐待防止研修も講師を招いて行って職員のスキルアップを図った。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100		0		0			0 モニタリングや更新の時に保護者と話し合い、それを基に、計画の立案や作成を行っている。

## 適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100			0	0	0	Jmap、JSIR、LD児等チェックリスト等のアセスメントツールを用いている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100			0	0	0	朝のミーティングの中で話し合い、立案をしている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100			0	0	0	職員同士で知恵を出し合ったり話し合ったりしながら固定化しない様に立案している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100			0	0	0	平日用のプログラム、休日や長期休業用のプログラムを用意し、事前に協議しきめ細やかな支援が出来る様にしている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100			0	0	0	個別課題、学習支援、SST、小集団活動(グループワーク等)を組み合わせ計画を作成し、療育を行っている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100			0	0	0	毎朝ミーティングを行い、連絡事項の確認、療育内容の検討、個別支援の確認、送迎の担当など決め役割分担を行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100			0	0	0	帰りの送迎終了後職員が集まり、本日の療育について話し合い、振り返りや反省、気付き連絡事項の確認等を実施している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100			0	0	0	療育の中で出来事や、残したい事をメモをし、翌日の午前中までに経過記録、療育日誌を記入し、自発管が確認し改善に繋げている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100			0	0	0	原則として半年に一度、モニタリングを行い事業者内支援会議を開き、見直しなどを行っている。また必要であれば半年以内でも実施している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	100			0	0	0	ガイドラインの中にある、自立支援、日常活動、創作活動、余暇活動などの基本活動を基に、作られたいぶきの療育を組み合わせ支援をしている。

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	100			0			0	相談支援専門員いぶき伊達を訪問して来たり、相談支援事業所に伺い、児発管が会議に参画している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	100			0			0	年度初め各小学校に挨拶に行き、顔つなぎをしておき、学校の一斉配信メールに参加させていたただき、学校からのメールが受信できる様にしている。メール以外にも電話での連絡などの情報の共有を図っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			0	6	100			0	医療的ケアの必要な児童は現在在籍していないが、受け入れる際には、情報共有を行っていく予定。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	100			0			0	児童発達支援事業所や、児童発達支援センターなどの見学や会議の時をもち情報共有を行い相互理解に努めている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			0	6	100			0	過去にはそのケースがあり適切に実施した。今年度は対象児童が不在で、そのような児童が在籍した場合には情報共有を図りたい。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			0	6	100			0	訪問を受け、話し合いや助言などを行っている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			0		0	6	100	0	現在は感染症対策の理由で行われていないが、次年度の検討事項としている。

保護者への説明責任等

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	100		0		0		0	いぶきグループで代表が、定例会に参加し、報告を聞いている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100		0		0		0	送迎時にその日の様子を伝えたり、変化があった時には伝えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		0	6	100		0		0	子育て、療育、発達の困りごとについて、必要に応じてアドバイス等の支援をしている。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100		0		0		0	契約時や更新、アセスメントの時に説明をしている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100		0		0		0	相談があった時には面談の時間を設け、必要に応じて連絡ノートを用いるなどの支援をおこなっている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		0		0	6	100		0	感染症対策の観点から今年度も保護者との交流などのイベントは実施していない。次年度の検討事項として上げている。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100		0		0		0	苦情があった時はすぐに対応できる様に体制を整え、話し合いをもち、迅速で適切に対応できるようにしている。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100		0		0		0	いぶきグループつうしんを発行し子ども達の様子やアンケートの結果、事業所からのお知らせ等は発信している。
35	個人情報に十分注意しているか	6	100		0		0		0	就職した時に個人情報の保護についての契約書を交わし外部に漏らさない約束をし、書類は鍵のかかるところに保管している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100			0	0	0	保護者の方の思いや考えに応じた対応や、子どもの特性に応じた情報の伝え方に配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		0			0	6	100	0	今年度も感染症対策を考慮し実施を控えていた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100			0		0	0	契約時及びモニタリングのタイミングで会議の際に説明をし確認して頂いている。施設の玄関に各マニュアルを提示し、いつでも見られる様にしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	100			0		0	0	火災や、地震の避難訓練を各一回、合計2回実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100			0		0	0	年1回基幹センターから講師を招き、虐待防止研修会の実施し虐待についての意識を高めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	6	100			0		0	0	現在身体拘束が必要となる児童は在籍していないが、本年度身体拘束等委員会を設置し、必要な場合は対応できる様にしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	100			0		0	0	アレルギーの有無を保護者から確認し、おやつの保管してある場所に提示し、更に職員に伝え、アレルギー物質の誤食を防いでいる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100			0		0	0	事例集を作成しており、過去の事例などを定期的に職員で閲覧し、発生時には直ぐに作成し、改善に向け共有できる様にしている。